

キャベツ調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		4畦×12株=48株(4畦×7株=28株)	10.1㎡(5.9㎡)
調査対象*** (1区当り)	生育調査等	20株(10株)	4.2㎡(2.1㎡)
	収量調査等	20株(10株)	4.2㎡(2.1㎡)

*: 栽植密度を畝幅60cm×株間35cm、a当り476株としたときの面積

2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁調査	
発芽	期	播種粒数の40~50%が発芽した日	C	観察	月日	1	
	良否	発芽の揃い、発芽勢の程度を観察 [良]5~[不良]1	B	観察	指数	1	
定植時の苗質	葉数	葉長2cm以上の葉	A	測定	枚	1	
	葉長	最大葉長	A	測定	cm	0.1	
結球	始期	10%の株で球の形成を認めた日	C	観察	月日	1	
	期	40~50%の株で結球始となった日	A	観察	月日	1	
生育(結球期)	葉数	葉長2cm以上の葉	A	測定	枚	1	
	葉長	最大葉長	A	測定	cm	0.1	
収穫	始期	10%の株が収穫可能な日	C	観察	月日	1	
	期	40~50%の株が収穫可能な日	A	観察	月日	1	
	終期	収穫を終えた日又は収穫打ち切り日	C	観察	月日	1	
	日数	収穫始期から終期までの日数	C	算出	日	1	
結球日数		結球始期より収穫期までの日数	C	算出	日	1	
生育日数		播種期から収穫期までの日数	B	算出	日	1	
裂球	始期	裂球の発生が認められた日	C	観察	月日	1	
		40~50%の株が裂球した日 (一部の株を収穫せず残し観察する)	C	観察	月日	1	
障害の発生程度	病虫害 生理障害 抽台	黒腐病、軟腐病など	障害の種類別に発生株率で 0: 無 発生が認められない 1: 微 10%未満の株に発生 2: 少 10~20%未満の株に発生 3: 多 20~40%未満の株に発生 4: 甚 40%以上の株に発生	A	観察	指数	1
		要素欠乏など					
		内部抽台程度を含む					

3 収量調査(a当り)

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
障害株数		収穫不能な病虫害および未結球株	B	測定	株	1	
収穫球数	規格内	出荷基準による	B	測定	個	1	
	規格外		B	測定	個	1	
	障害		B	測定	個	1	
	合計		B	算出	個	1	
規格別収量	規格内	2L	出荷基準による 1,600g以上	B	測定	kg	10g
		L	1,300~1,600g未満	B	測定	kg	10g
		M	1,000~1,300g未満	B	測定	kg	10g
		計		A	算出	kg	10g
	規格外		A	算出	kg	10g	
	合計		A	算出	kg	10g	
同上割合		$((2L \sim M) / \text{規格別収量合計}) \times 100$	C	算出	kg	10g	
地上部重		規格内株の 外葉重+結球重	C	測定	kg	10g	
調整率		$(\text{結球重} / \text{地上部重}) \times 100$	B	算出	%	1	
障害球および規格外球数割合	規格外	$(\text{各球数} / \text{栽植株数}) \times 100$ 内部抽台を含む	A	算出	%	1	
	内小球		B	算出	%	1	
	内軟球		B	算出	%	1	
	病虫害		A	算出	%	1	
	生理障害		A	算出	%	1	
	抽台球		A	算出	%	1	
	裂球		A	算出	%	1	
欠株率		$(\text{栽植株数} - (\text{障害株数} + \text{収穫球数}) / \text{栽植株数}) \times 100$	B	算出	%	1	

4 特性調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均一球重		規格内収量/規格内球数	A	算出	g	1
球形指数		規格内球の (球高/球径) × 100	A	算出		1
球の外観、食味等品質評価	球品質	球形, しまり, 色, 障害の有無等外観形質評価 [良]5~[不良]1	A	観察	指数	1
	食味	角切り等により, 硬さ, 甘さ, 辛味, 苦み, 多汁性を評価[良]5~[不良]1 [良]5~[不良]1	A	観察	指数	1
	総合評価		A	観察	指数	1

